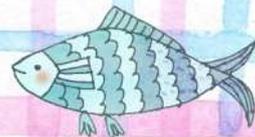




なかじま保育園



園目標『夢中になって遊ぶ子』
 なんだろう？ おもしろそう！ やってみよう！
 ~子どもの意欲や想いを大切にします~2023 夏



今年の夏も、とても暑い日が続きました。熱中症対策をしながら、プールや水あそびを楽しみました。年長児は、ビート板を使って体が浮く感じや足のキックで進むおもしろさを味わったりしました。乳児クラスでは、水だけでなく、氷、お湯、かんてん、ゼリー、はるさめなど、様々な感触を味わう機会になりました。

なかじま保育園は住宅街の中にあるのに、自然が豊かで色々な生き物や栽培物との出会いがあります。



以前クッキングで使った『スケール』を覚えていて『はかりではかる？』と子どもたちから話が出ました。

子ども達にとって身近な物が、おもしろいおもちゃになります。空のペットボトルはフカフカと水に浮いて水あそびの中で不思議な存在になり、段ボールは開けると向こう側に保育士や友だちを「いたー」とみつける遊びになります。

給食のお手伝いの『ハセリちぎり』です。



育てた『かぼちゃ』の重さ比べ



絵本に出てくる「つなひき」を友だちや保育士と一緒に楽しんでいます。綱に見立てた赤いひもは、釣りの竿になったり太鼓のハチになったりしました。見立てる力が育ってきている2歳児です。

家庭で経験したことを再現あそびとして楽しんでいます。金網（アルミホイルで作った）があるだけで友だちと一緒にイメージを共有して遊びが楽しく広がります。

巧技台をホールに持ってきてアスレチックを作っているのは年中児です。「どんなコースにしようか」「高さはどれ位がいいかな」など友だちと一緒に考えながら並べています。

ペットボトルで船づくり



「2人でも乗れるかな」と話しながら試しています。「もっと浮くためにビート板をつけよう!!!」という話になり、プールでの経験が、船作りにつながりました。



『バーベキューごっこ』



♪おぼけなんてないさ♪の歌が大好きな年少児が、おぼけになりきったり、くぐったり飛び出たりするのがおもしろい『おぼけトンネル』を友だち楽しんでいます。



『おぼけトンネル』



作った船が水に強いが、本当に浮かぶか実験中



年長児の牛乳パックの海の生き物から始まった『水族館あそび』です。海の中がどうなっているか知るために図鑑で調べて色々な素材を使って作ったり、経験したことを友だちと話す中で出てきた『イルカやペンギンショー』をどのようにやるのか話あったりと、今日だけでは終わらないワクワクするおもしろさが続いています。小さい子にも見せてあげたいという気持ちも子どもたちから生まれました。